

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
音楽表現	1	前期	演習	1	中村 佳代子
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>テーマ：領域「表現」のねらい及び内容を理解し、乳幼児期の発達を活かす身体全体を使った動きを実践的に体験し、保育者として必要な音楽表現の知識・技能・表現力を身につける。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 領域「表現」のねらい及び内容について学び、乳幼児の発達を理解し、乳幼児の姿を受け止め共感することができる。</li> <li>2. 音楽の持つ様々な要素を、身体全体を使った動きで体験し、音楽力を高め表情豊かに表現できる。</li> <li>3. 自然や日常生活の事象に眼を向け、身体の諸感覚で捉え表現ができる。</li> <li>4. グループワークの協働作業により、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につないでいくことができる。</li> </ol>					
<p>○授業の概要</p> <p>保育者として求められる表現力と音楽の基礎知識を、身体全体を使った活動を通して培い体験的に学習する。また乳幼児期の生活や遊びを理解し、発達年齢に相応しい音楽表現を演習し楽しさや喜びを味わい、発達を促す音楽表現活動を協働して深める。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：領域「表現」のねらい及び内容と、乳幼児期の音楽表現について</p> <p>第2回：コミュニケーションの発達を促す「子どものうた」について（コミュニケーション、拍）</p> <p>第3回：ことばの発達を促す「子どものうた」について（拍子とリズム）</p> <p>第4回：動きの発達を促す「子どものうた」について（身体の知覚、テンポとダイナミクス）</p> <p>第5回：認知や社会性の発達を促す「子どものうた」について（フレーズ）</p> <p>第6回：伝承あそび「わらべうた」の特徴と意義、音楽的特徴と意義について</p> <p>第7回：唱歌、童謡など日本の歌について</p> <p>第8回：音のスケッチ — 声や自然の音、楽器の音、絵（図形）のイメージを描く</p> <p>第9回：音のスケッチ — 描いたものを声や楽器、身体で表現。グループワーク（アンサンブル）</p> <p>第10回：イメージ音楽 — ピアノを使用したイメージ音楽、効果音について</p> <p>第11回：イメージ音楽 — 協働して短い物語を作り、声や楽器、身体全体を使って表現する</p> <p>第12回：視覚的教材による歌唱の導入について</p> <p>第13回：視覚的教材を用いた表現方法について</p> <p>第14回：視覚的教材を用いた表現を実践し、考察する</p> <p>第15回：まとめ</p> <p>定期試験</p>					
<p>○テキスト</p> <p>『新たなしいこどものうたあそび』木村鈴代編著 同文書院</p> <p>『ユニバーサルデザインの音楽表現』星山麻木編著 萌文書林</p>					

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

受講態度 25%

提出物 20%

講義内発表・実技試験 55%